



日本最北の動物園 ASAHIYAMA ZOO

発行所
動物資料展示館
旭川市
旭山動物園
☎ 36-1104

六月六日オープンの予定でセキモニの準備!

「ほっきょくぐま館」の西側にできた新「あざらし館」の前です

先日、泳ぎの上手なヒカルちゃんを含めた3頭のアザラシが、他の仲間をのこして、「一足先に」新しいあざらし館へ引越して、館内の隅々まで泳ぎ回ってすみ心地を存分に味わっています。

ホープの予定が決まる「あざらし館」! どこからでもよくみえるよ!



ヒカルちゃん

ほっきょくぐま館から

そして、きっと見事な泳ぎ振りを披露してくれると思います。今までは、水面の上からしか見ることができなかったのですが、水の中にいるアザラシがどのようになっているのか詳しく観察することができませんでしたね!

アザラシの目線でお客さんを見るマリンウェイは、360度見回すことができ画期的な施設です。きっと、皆さんも泳いでみたくなることでしょう。

6月6日には、すべて(9頭)のアザラシが新しい「あざらし館」で皆さんのご来園をお迎えすることになるでしょう。



ハムくん

ハムくん

ほくもはやくマリンウェイを
通ってみたいよ!

ふしぎ発見・なにか見つけてね!(No. 36)

(飼育展示係の人をさがして聞いてみてください!)

★モミジノリス(霊長目・オナガザル科)
生息分布域



のように房がついているもの

などで、いくつかの亜種に分けられています。

あかんぼうの体色は真っ白で、生後1ヶ月くらいは白いままです。その後、腕の部分から黒くなり始め、頭部、背中と進み、

4ヶ月くらいで、親と同じようになることが旭山動物園の研究でわかりました。しかし、尾の白い毛は、パーマをかけたように縮れていて、親のようにふさふさとした毛になるには1年くらいかかるようです。

コロボスは見てわかるように実に美しいサルです。ヨーロッパの貴婦人の間で毛皮が珍重され、19世紀の後半には1年間で17万枚もの毛皮が輸出されました。最近では、コロボスの毛皮を6〜8頭分をつなぎ合わせた丸い敷物がアフリカ土産として売っているそうです。生息環境の破壊と平行してこのような乱獲行為が行われていけば、この美しいサルたちもいつ絶滅してしまうかわかりません。悲しいことですね!

食べ物 コロボスの仲間は、木の葉を主食とするサルの仲間です。木の葉は消化しにくい食べ物ですので、コロボスの大きな胃は2つにくびれており、バクテリアによるセルロース分解や毒素の活性を抑えることに役立っています。また、果実や花、つぼみなども好んで食べます。その他 コロボスと同じように木の葉を主食とするサルの仲間は、東南アジアに5属19種類が分布しますが、アフリカでは、コロボス属5種だけです。尾は白く太い房のようになっていますが、このふさふさとした毛は、彼らが枝から枝へ飛び移るときにプレーキの役割を果たすと考えられています。この特徴ある尾の形が、全体が房となっているのも、先にぼんぼり

お知らせ!

6月の読み聞かせは、12日(土曜日)です。

*読む「えほん」は、

・タテコトアザラ

シのおやこ

・グレイリソク

「伝説のセル

チーの物語」

読み聞かせの会へ!

の二冊です。

そのほかどんなお話が聞けるでしょう?

読み聞かせの会の人の読み聞かせが終わると、つづいて園長が、今、読んだ絵本に描かれている動物のことに ついて、詳しく、わかりやすく、正しい知識を教えてください。そして、参加した皆さんを新しくできた「あざらし館」まで案内し、実際にアザラシを観察しながらアザラシの行動や生態など色々とお話しくれます。大人の方も、ぜひ、ご参加を!

6月12日(土) どうぶつ図書館で!
動物資料展示館の2階です

ワンポイントガイド

6月6日=新しいあざらし館
オープンの予定です

6月13日=シロサイ

6月20日=クマ

6月27日=さる会